



# 8時間働いて人間らしく暮らすには だれでもどこでも **時間額** 1,500円必要

保育士5年目で時給1147円は低すぎます。最低賃金を上げて余裕ある生活を送りたい。(静岡県)



田舎は車生活。1人1台の車はとてもお金がかかります。「島根だから低い」はおかしい!(島根県)

## 生活に必要な不可欠な仕事の賃上げに直結

医療、介護、福祉、公衆衛生、小売りなど、コロナ禍のもとで感染の危険と隣りあわせで働くエッセンシャルワーカーには、最低賃金に近い賃金で働く女性や若者が多くいます。

保育の「やりがい」に甘えていませんか? やりがいだけでは続きません。やりがいを感じながらゆとりある生活ができれば、保育士のなり手はたくさんいると思います。(福島県)

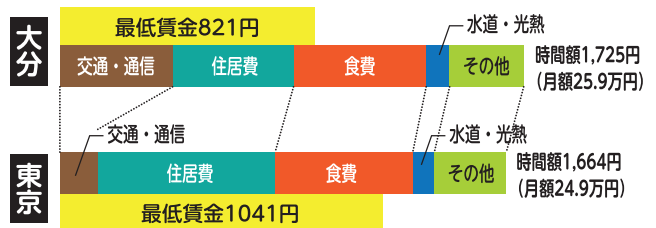


▲中央最低賃金審議会に寄せられた声

最低賃金の目的のひとつは「労働条件の改善を図ることにより労働者の生活を安定させる」ことです。

全労連と地方組織が取り組む「最低生計費試算調査」では、若者が一人暮らしをするために必要な賃金を明らかにしてきました。その結果は、①生計費は都市部も地方も大きな差がないこと、②月額24万円、時間額1500円以上必要、ということです。

大分県と東京都の最低賃金は822円、1041円と219円もの差がある一方、最低生計費は1664円、1723円とほぼ同じです。調査に協力いただいた石井まこと大分大学教授は「消費税10%の影響もあり、生計費が高くなっている」と指摘しています。



# 働く人も中小企業もみんな豊かになろう

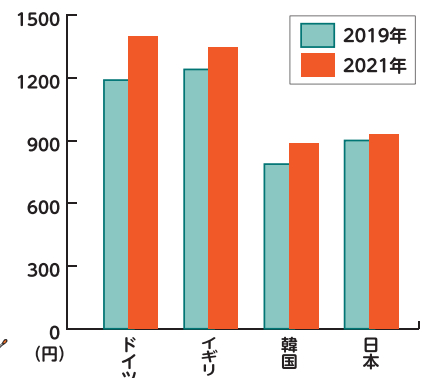
中小企業が最低賃金引き上げに対応するために必要と考える支援策は、「税負担等の軽減」(62.5%)が最も多く、次いで「助成金の拡充・使い勝手の向上」(50.0%)、「取引価格の適正化・円滑な価格転嫁」(45.4%)などとなっています(日本商工会議所「最低賃金引き上げの影響に関する調査」2021年4月)。全労連・国民春闘共闘も最低賃金の引き上げにともなう中小企業支援策の強化を求める提言を行っています。今すぐ国は支援策を強化すべきです。



## コロナ禍でも賃金引き上げは世界の流れ

諸外国ではコロナ後の経済回復を見据えて、2021年にも最低賃金の引き上げを行っています。例えばイギリスでは、2021年4月に8.72ポンド(約1300円)から8.91ポンド(約1340円)に、ドイツでは、2021年7月から9.6ユーロ(約1270円)、2022年7月に10.45ユーロ(約1380円)へ引き上げられます。韓国では2022年に最低賃金を5.0%引き上げ、9160ウォン(約880円)となります。

米国では連邦政府と契約する企業の最低賃金を時給10.95ドル(約1200円)から15ドル(約1630円)に引き上げることになりました。



※ドイツ・韓国は2019年と2022年の額

